

ホースがゆれたら がいにおんごた

高知 一年 ちよ



きよう、がっこうからかえったら、青くて大きくってホースを
まいた車が、うちのとなりにとまっていました。「くみとりや。」
とおもいました。

うちに入って、

「ただいま。」

といったら、

「おかえりなさい。」

と、トイレから、おかあさんのこえがきこえました。

わたしはランドセルをおろして、うらをとおって、ホースでと
るところへ見にいきました。おじちゃんが二人いました。一人の
おじちゃんは、車にのったり出たりしていました。もう一人のお
じちゃんは、ホースをもって、あなをのぞきながらとっています
た。

わたしがあなの中をのぞいたら、ちやいろいうんこやティッシュ
がいっぱいありました。わたしらあがやったうんこはおもいま
せんでした。わたしらあがやったうんこより、もっとくさかった。
そのとき、まえにおかあさんが、

「くさいいうたら、もうくみとりこんなるで。」

といったことを、おもいだしました。だから、はなはつまみませ
んでした。でも、見たかったから見ました。

うんこがホースの中ドゥツと入っていきました。おじちゃんは、
ホースをおなかのよこにあてておさえました。うんこが、ダダッ

とつまりました。おじちゃんは、ホースがゆれたからがいにおさえました。そのあとは、スーッと、うんこがホースに入っていました。

おじちゃんが、

「水、もうえい。おわった。」

と、トイレのまどを見ました。あなからいっばい出てきよった水がとまりました。「トイレにいるおかあさんが、とめた。」とおもいました。

ずっと見ていたら、おじちゃんが、

「つれていくぞ。」

といました。わたしは、

「いや。」

といました。

おじちゃんは、ふたをしめて、ホースをもって、くるっとまわりました。すぐまえのおかださんのうちのトイレのあなに、ホースをもっていきました。すぐちかくだから、車はうごかしませんでした。

そのとき、まいちゃんが、

「ちよちゃん、あそぼう。」

と、おかださんちのまえまできました。わたしが、

「トイレのあなをいっしょに見よう。」

といたら、まいちゃんが、

「うん。」

といました。いっしょにあとをついていきました。また、あなをのぞいたら、わたしのうちよりうんこがいっばいありました。ティッシュもいっばいありました。

とちゆうまで見て、「にっきにかこう。」とおもって、かえりました。まいちゃんも、じぶんのうちへかえりました。

(指導 森知美香)